

「初めての手話講座」が開かれました

平成30年6月7日(木) 10時から11時30分、総務部会担当による「いきいきサロン」『初めての手話講座』が開催されました。講師に福山市ろうあ協会会長の門田潤美さん、手話通訳に平盛千恵子さんが出講されました。演題は「聞こえないってどんなこと?」です。

■松川部会長の手話による挨拶・講師と手話通訳の紹介から始まりました。



『開会の挨拶』



【講師の自己紹介】



【手話通訳の平盛さん】

■「聴覚障がいとは」の講演が始まりました。



- ・「聞こえない」のは外からでは分らない障がいです。車いすの人や白い杖の人は身体障害、視覚障害と分かります。
- ・聴覚障害者(ろうあ者・難聴者・中途失聴者・盲ろう者)と皆それぞれ違う障がいです。
- ・コミュニケーション手段は、手話・手話通訳・口話・筆談・空書・オーバーヘッド・要約筆記・ノートテイクがあります。

■私(講師)の体験から

「手話は目と目を見て話をします」人と人が向き合っのコミュニケーションなのです。

私が生まれた時は耳が聞こえていたが小さな時に高熱で聴覚を失い聞こえなくなりました。聞こえないまま義務教育を終えて高校は広島ろうあ学校へ進み『理容科』の勉強をして国家試験合格、資格を取りました。父がこの道を勧めてくれました。行って良かった。みんな同じ聞こえないけれども目が澄んで表情が素直で笑顔で話してくれました。同じ仲間に出会い、手話に出会い、社会に出られて本当に良かったと思います。父は「聞こえんけれど、義務教育を終えてよく頑張ってくれてありがとう。」と言ってくれました。どんな時にも決して「かわいそうに」とは言わなかったです。親が先に逝っても生きていけるようにしてくれたことが本当に有難かった」としみじみと生い立ちを語られた時には、皆さん涙が出ていました。



■ DVD 鑑賞 聴覚障害者の生活「私の大切な家族」(15分)を観ました。



『父・母・兄はろうあ者、妹は健聴者です』



『父は印刷技術が得意です』



【兄は活発な男の子です】



【近所の花屋さんでお買い物】



【家庭訪問の様子・手話通訳が同席】



【一家団らんの風景】

耳の聞こえる人も、聞こえない人も、一緒に暮らすと みんな 大事な 家族 ！

■ 簡単な手話を覚えましょう (手話は見る言葉)



- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| ① おはよう | ② こんにちは | ③ こんにちは | ④ お疲れ様 |
| ⑤ 有難う | ⑥大丈夫 | ⑦ すみません | ⑧ うれしい |
| ⑨ 分かる | ⑩ よろしく | ⑪ 何? | ⑫手伝う |
| ⑬ むずかしい | ⑭ かまわない | ⑮ 好き | ⑯ 嫌い |
| ⑰ 困る | | | |

■ 覚えたい手話がありますか?

- ① 元気ですか ② 拍手 ③大好き ④ 暑い ⑤ 今日・明日・明後日
⑥ 1~10の数

■ 質疑応答

Q. 同じ幼稚園にろうあのお母さんがおられて保護者の仕事を一緒にしたいがどんなことが出来るのか、どのように配慮したらよいか?

A. 大丈夫、初めにお話をして説明をしてあげてください。誰かと一緒になさるといいと思います。自分のできる方法でコミュニケーションして下さい。

Q. 手話は何万語ありますか?

A. 手話は3万語、日本語は8万語あります。少ない理由は言語が少なくても意志が通じる「見る言語」だからです。例えば「わたしはおとこです」の日本語は9字ですが、手話言語では「私は 男 です」の3字ですみます。

■ 閉会の挨拶は西学区の福祉を高める会の来山副会長が手話を使ってされました。すると皆は手話の拍手(両手を上にあげて、手の平をキラキラと裏表にする)をして喜びを体いっぱいに表示しました。今日の参加者は皆で32名でした。皆さん熱心に勉強をされました。